

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	陽光ホーム	評価対象年度	令和元年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人育桜福祉会 ・代表者名 星 栄 ・住所 川崎市中原区西加瀬10番3号	評価者	障害計画課長
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	共同生活援助（定員 16名）在籍者 14名（令和2年3月31日現在） 地域生活体験事業（定員 1日2名）延利用日数 273日																																				
収支実績	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th rowspan="2">収支差額</th> </tr> <tr> <td>経常活動</td> <td>69,306千円</td> <td>経常活動</td> <td>66,804千円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>37,143千円</td> <td>人件費</td> <td>51,241千円</td> <td rowspan="7">261千円</td> </tr> <tr> <td>川崎市単独扶助</td> <td>16,304千円</td> <td>事務費</td> <td>3,053千円</td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料</td> <td>6,679千円</td> <td>事業費</td> <td>9,509千円</td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入</td> <td>0千円</td> <td>拠点区分間繰入</td> <td>3,000千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>9,180千円</td> <td>施設整備等</td> <td>2,241千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>69,306千円</td> <td>合計</td> <td>69,045千円</td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>	収入		支出		収支差額	経常活動	69,306千円	経常活動	66,804千円	給付費	37,143千円	人件費	51,241千円	261千円	川崎市単独扶助	16,304千円	事務費	3,053千円	指定管理委託料	6,679千円	事業費	9,509千円	拠点区分間繰入	0千円	拠点区分間繰入	3,000千円	その他	9,180千円	施設整備等	2,241千円	合計	69,306千円	合計	69,045千円		
収入		支出		収支差額																																	
経常活動	69,306千円	経常活動	66,804千円																																		
給付費	37,143千円	人件費	51,241千円	261千円																																	
川崎市単独扶助	16,304千円	事務費	3,053千円																																		
指定管理委託料	6,679千円	事業費	9,509千円																																		
拠点区分間繰入	0千円	拠点区分間繰入	3,000千円																																		
その他	9,180千円	施設整備等	2,241千円																																		
合計	69,306千円	合計	69,045千円																																		
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者とのコミュニケーションを大事にして思いを受け止めながら、障害特性に応じた支援を行いつつ、さらなる地域移行ができるよう支援を行っている。 ・毎年利用者満足度調査を実施し、ホームに対する利用者の意見を、施設運営に反映させている。支援員が通院に同行し、医師の指示内容を通所先と共有するなど、丁寧な支援に取り組んでいる。 																																				

3. 評価（評価段階：5～1,標準：3,加点割合：5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・個別の支援計画を誕生月を起点として計画策定をし、それぞれ半年毎にモニタリングを行うことを定着させ、利用者へ細かなサービスを提供すると共に、業務の効率化が図れ事業運営をスムーズに行う事ができた。 ・利用者の意向を尊重した外出に伴う行動援護、金銭管理支援をきめ細かにを行い、利用者の家族からお金の使い方での質問を受けることもなく、お金を主体的に使い余暇を楽しめるよう支援する事ができた。 ・体験事業では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で予約がキャンセルされたにも関わらず、昨年度より利用者の延日数が増加されている。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・支出については、経年劣化による生活備品の買い替えや建物の補修を行ったが、予算内で適正に支出されている。 ・収入については、債権管理を的確に行い、給付費収入は見込みをやや下回ってはいるが、収支はプラスであった。 ・法人として、平成29年度から自主的に会計監査人監査を実施し、年間を通じた内部統制の評価や拠点の往査も行って、適正に会計処理されている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) ・適切なサービスの提供のため、利用者とのコミュニケーションを重ねながら意思の確認を行い、自ら要望を伝えることが苦手な方には「相談ノート」を書いてもらう等の工夫を行っている。また、言葉の少ない利用者にはカードの利用により意思確認を行っている。 ・利用者との面談のタイミングを計って、利用者が不安にならないよう支援を行っている。また、サビ管と支援員だけでなく、夜間等直接関わる世話人に対しても支援の統一性が図られるように、面談や書面での情報提供を行うことで、利用者とのコミュニケーションを深め、きめ細かな支援に反映させている。 ・近隣の入所施設である桜の風からの栄養士の定期的な派遣により、食事提供に関するアドバイスを受けて、サービス向上につなげている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	4	4	
(評価の理由) ・今後の入所者の受け入れの方向性として、コミュニケーションの難しい重度の知的障害のある方を想定しており、その想定に基づき、強度行動対策研修を受講するなど、必要な知識の獲得などスキルアップに努める事が定着している。 ・安全・安心の取組みとして、「危機対応マニュアル」に基づき、事故等の対応や大規模訓練を行っている。また、当該施設が、土砂災害警戒区域内にあるため、土砂災害を想定した避難訓練を行っている。 ・すべての職員へのメンタルヘルスチェックの実施や、職員の目標管理制度の取組によって、労働環境の整備の推進を実施している。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	4	4
(評価の理由) ・建物管理等について、委託により適切な保守点検などが行われている。 ・安全・安心を確保するため、環境整備と併せて日常的に事業所内外の整理整頓を心掛けるとともに、薬品等の保管場所を限定し、管理を行っている。 ・草刈機を購入し、定期的な草刈りを行っている。 ・点在していた備品を集約し、消耗品等の保管場所を限定したことで在庫管理などが容易になり、職員の備品に対する管理意識の向上につながっている。					

4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準:C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→40点以上50点未満,E→50点未満

A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- 一人暮らしを希望していた利用者に対し、長期にわたる話し合いを経て地域移行を実現させることができた。このことが、他の利用者へ好影響を与えており、一人で生活するという希望を持つきっかけにつながっている。
- ご家族や後見人、関係機関と日頃から連絡を取り合っており、利用者が安心して暮らせるための必要な支援が行われている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- 地域移行を目指して、関係機関と時間をかけて調整し、実現したことは大いに評価できる。今後においても同様の取組を積極的に進めること。